

水虫・爪水虫

■水虫とは■

皮膚糸状菌（多くは白せん菌）という一種のカビ（真菌）によって生じるものであり、生じる場所によって呼び方が変わってきます。

- ・足：水虫（足白せん）
- ・体：たむし（体部白せん）
- ・爪：爪水虫（爪白せん）
- ・頭：しらくも（頭部白せん）
- ・股：いんきんたむし（股部白せん）

白せん菌はカビですので、高温多湿を好み、ケラチンという皮膚のたんぱく質を栄養源とするため、足の裏・足の指の間などが白 菌にとって住みやすい場所になります。



■感染経路■

水虫にかかった人の皮膚から剥がれ落ちる角質を素足で踏んだりし、金が付着して感染することがあります。但し、菌が付着してすぐに感染するというわけではなく、洗い残った菌が傷から入り込み、なおかつ繁殖しやすい場所にいたときです。

■症状■

足白では足の裏・足指の間が好発部位ですが、足指の間がじゅくじゅくして白くなりふやけるタイプ・足裏に水ぶくれのようなものができたあと、カサカサして皮がむけるタイプ・足の裏がガサガサ厚くなるタイプがあります。爪白では爪が白から黄色に濁り厚くなります。股のいんきんたむしや体のたむしでは、赤みがだんだん輪になって広がるのが特徴です。通常はかゆみがあります。頭皮白では頭皮がカサカサして髪の毛が抜けます。

■診断■

病院で皮膚の状態を診て診断しますが、確定診断は皮膚の表面を削りとり顕微鏡で確認することが重要です。

■水虫に感染しやすい環境■

- ・足をきれいに保てていない
- ・毎日長時間靴を履き、足がむれた状態のことが多い
- ・足の指が太く、互にくっつきあって湿っている
- ・体温が高く、体質的に汗をかきやすい
- ・どちらかと言えば脂性
- ・糖尿病・免疫不全で免疫力が落ちている

■予防するには■

- ・体を清潔に保ちましょう。
毎日の入浴の時にしっかり指と指の間まで洗いましょう。
白せん菌が付着しても24時間以内にしっかりと洗えばうつらないと言われています。
傷があると白せん菌が入りやすいので軽石や角質とりの使用は避けましょう。
- ・家を清潔に保ちましょう。
特に家庭内に水虫を持っている人がいる場合は、
共用のマットやスリッパから感染することが多いので、こまめに洗濯ししっかり乾燥させましょう。
- ・靴はできるだけ毎日違うものを履きましょう。

■治療■

白せん菌の場合外用(塗薬)を使用して、最低でも1か月間は使用を続けます。

症状が消えた後でも2か月間は続けた方がいいと言われています。

他には飲み薬を服用する方法があります。(特に爪水虫)